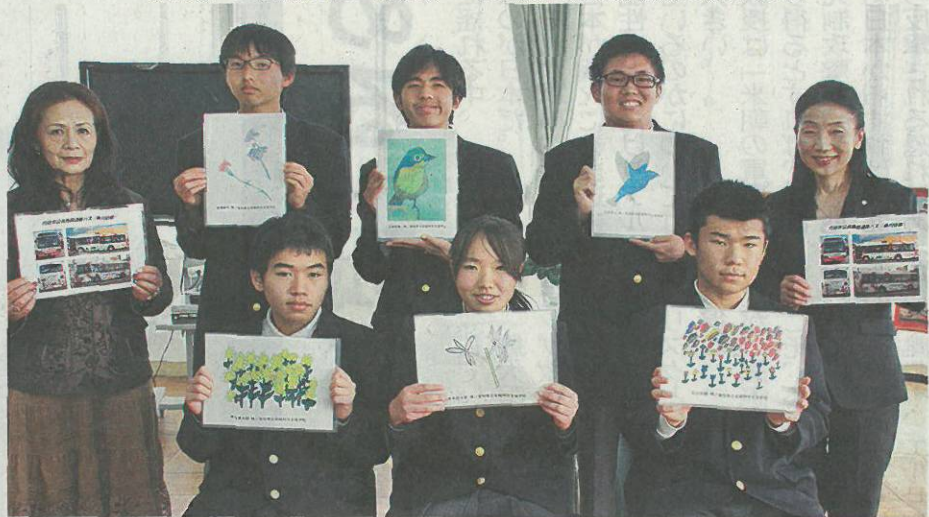


# 触れて 自由な感性

自分の作品を持つ6人の生徒とバスの写真を持つ須藤さん  
(左端)、近藤さん(右端)＝安城市の安城特別支援学校で



刈谷市の公共施設連絡 校の生徒六人に二十三  
バスの車体に描かれたイ 日、記念品が贈られた。  
ラストの原画を手掛けた 昨年、刈谷市の土木建  
安城市の安城特別支援学 築会社「近藤組」と障害

## 安城特別支援校生 バスに絵

者の絵を企業に活用して  
もらう活動をする豊田市  
の一般社団法人「アティ  
ックアート」が協力。刈  
谷市のラッピングバス一  
台のイラストを制作し  
た。デザインを決める  
際、安城特別支援学校高  
等部三年の岸本百々香さ  
ん、新実春平さん、二年  
の近藤拓海さん、三河秀  
人さん、中学部三年の神  
谷康太朗さん、二年の石  
川夕朔さんが、それぞれ  
描いた花や鳥などを採用  
した。

バスには、六人とアテ  
ィックアートの会員の作  
品を組み合わせたイラスト  
が車体の左右と後ろに  
描かれ、昨年八月から東  
刈谷線で走っている。

二十三日は同校で、近  
藤組の近藤純子社長が六  
人に菓子などの記念品を  
贈り、学校側から近藤社  
長とアティックアートの  
須藤伸枝理事長に感謝状  
が贈られた。六人は「絵  
が採用されてうれしい」  
「絵が描いてあるバスに  
乗りたい」と笑顔を見せ  
ていた。  
(重村敦)